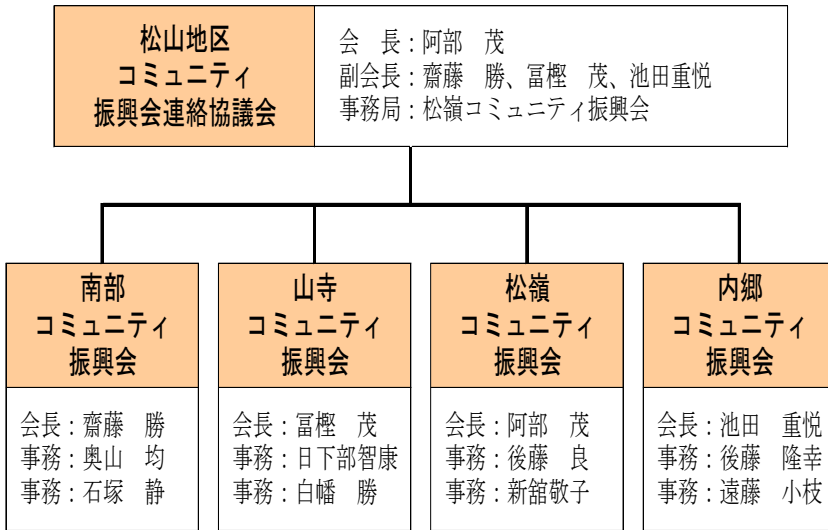


# コミしんまつやま

第4号 (平成23年6月1日発行)  
 発行：松山地区コミュニティ振興会  
 連絡協議会  
 住所：酒田市字山田 20-1  
 電話：0234-61-4365

## コミ振連絡協議会 今年度の体制

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会の協議委員会で役員が改選され、今年度の体制が決まりました。  
 連絡協議会では、各組織の情報を交換しながら連携して事業を行い、また地域の皆様とも協働しながら、引き続き、よりよい地域づくりを推進していきます。



松山コミュニティ連協の  
 充実した活動を  
 松山地区コミュニティ振興会  
 連絡協議会  
 会長 阿部 茂

平成二十三年度のコミュニティ連絡協議会の協議委員会で、初代会長冨樫茂氏と交代し、連絡協議会の舵を取ることにになりました松嶺コミセンの阿部茂です。

昨年度の事業報告にもありましたが、酒田市民体育祭の成績が向上しヘルパイ賞を受賞し反省会が盛り上がりました。また、会員研修として、旧三町のコミュニティ組織の課題を巡る研修会が、十一月に松嶺コミセンで開催され、有意義な会議となりました。その後十二月にも酒田市の研修会が開催され、山寺コミセンのホタルの里の取り組みが発表され好評でした。

さて、本年度の運営についても、酒田市民体育振興会評議員会で、旧三町の体育振興組織の加盟が正式に認められることになり、活動の一層の充実が求められることとなります。また、研修事業についても、コミ振役員と事務職員の合同研修を企画しています。少しずつではありますが、皆様から理解していただき、住民各位の生活の向上と連絡連携を図って行きたいと思っております。なにとぞ皆様よりご協力をいただき、一歩でも二歩でも前に進めるよう努力していきたいと思っております。

コミュニティの防災体制を  
 松山総合支所長 太田 豊

3月に発生した東北地方太平洋沖地震は、大津波の影響で未曾有の大災害となりました。亡くなられた多くの方々には、心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されたみなさまには、心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災は、私たちにも多くの課題を与えました。長時間電気もなく電話も通じない状況での情報収集や連絡体制はどうあるべきか。今回、幸い水道は使えましたが、ライフラインが全滅という想定もしておかなければなりません。

昨年度は、南部と内郷に防災資機材庫が整備されました。今年度には山寺と松嶺にも設置の予定です。発電機や毛布、反射式ストروب、テント、炊き出し用の道具など、コミュニティ振興会でそれぞれ役割を決め、いざというときにうまく使用できるように日ごろから訓練しておきたいものです。

今年度、コミュニティ振興会の自主防災組織の体制を、よりよい方向に持っていくよう一緒に考えていきます。災害に強いまちづくりのため、みなさんのご協力をお願いします。